

# 高麗郡建郡1300年

平成28年は、武蔵国に高麗郡が置かれてから1300年を迎えます。日高市は、先人がこの土地に築き上げてきた大切な歴史や文化に感謝を表し、未来に引き継ぐため「高麗郡建郡1300年記念事業」を推進しています。



續日本紀卷七 靈龜二年五月  
 辛卯以駿河甲斐相模  
 上総下総常陸下野七國  
 高麗人千七百九十九人  
 遷于武蔵國始置高麗郡焉



## 高麗郡の歴史



紀元前37年頃から668年まで、中国北東部から朝鮮半島にかけて「高句麗(こうくり)」という強大な国家が700年間近く栄えていました。長い時間をかけて多くの高句麗人が渡来人として「倭(わ)」の国(当時の日本)へ渡り、日本国の政治・産業・文化の向上に影響を与えました。日本では高句麗人のことを高麗人(こまびと)と呼びました。

そのような時代、1300年前の<sup>するが</sup>靈龜<sup>かい</sup>2年(西暦716年)5月16日、<sup>さがみ</sup>駿河・<sup>かすさ</sup>甲斐・<sup>しもうさ</sup>相模・<sup>ひたち</sup>上総・<sup>ひたち</sup>下総・<sup>ひたち</sup>常陸・

<sup>しもつけ</sup>下野の7国にすでに移住していた高麗人1799人を、武蔵国に集めて高麗郡が建郡されました(『続日本紀』)。その建郡時の中心的人物が、「<sup>こまのこきしじゃつこう</sup>高麗王若光」と言われています。

彼らは、優れた技術と努力で未開の地だった高麗郡を開拓しました。道路を整備し、山林を農地に変え、生活の基盤を整えるとともに新たな産業を起こしたと考えられます。

高麗郡は1200年近く続きましたが、明治29年(1896年)、入間郡に編入されその名を消しました。

## 会場案内



埼玉女子短期大学

〒350-1227 埼玉県日高市女影1616

徒歩 JR川越線 武蔵高萩駅より約15分

イーグルバス時刻表

【JR川越線 武蔵高萩駅→会場】

埼玉女子短期大学前下車

12:40 発

13:10 発

※車でお越しの方は駐車台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

